令和８年度　秋田県立比内支援学校　キャリア教育全体計画

キャリア教育の目標

・発達段階に応じて、自分の役割を果たそうとする意欲や実際的な力の育成を目指し、自分らしい生き方を実現していくための資質や能力を育てる。

学校教育目標

児童生徒の生命と人権を尊重し、障害の状態や発達段階、特性に応じた教育を実践することで、一人一人の可能性を最大限に引き出し、自立と社会参加できる力を育成する。

＜目指す子ども像＞
（１）健康・・・心身ともに健康になろうと努力する子ども
（２）誠実・・・喜びをもって精一杯努力する子ども
（３）自立・・・自分のことは自分の力で成し遂げようと努力する子ども

地域や児童生徒の実態等

・教育活動に対する地域の理解と協力があり、地域と共に生きる教育活動の展開が可能である。

・知的障害を主とする特別支援学校で、寄宿舎が併設されている。医療的ケア対象生徒や、発達障害を有する児童生徒など、障害の重度化、多様化が見られる。

目　指　す　児　童　生　徒　像

小学部	中学部	高等部	寄宿舎
（１）健康で明るく、生き生きと生活する児童 （２）友達や教師と関わりながら、仲良く活動する児童 （３）自分のことは、最後まで自分でしようとする児童	（１）丈夫な体と心をもち明るく元気に活動する生徒 （２）思いやりの気持ちをもち、協力したり、自分の役割を果たしたりする生徒 （３）最後まで一生懸命にチャレンジする生徒	（１）適切に人と関わりながら、進んで体力づくりに取り組み、心身ともに健康な生活を送る生徒 （２）お互いに認め合い協力しながら、最後までやり遂げようとする生徒 （３）自立した生活に向けて、何事にも積極的にチャレンジする生徒	（１）規則正しく健康で安全な生活を送り、明るく元気に活動する子ども （２）互いを認め合い、協力し合う子ども （３）目標をもち、自分のことは自分の力で成し遂げようとする子ども

キャリア教育の観点で育てたい能力

小学部段階	中学部段階	高等部段階
（１）　健康・・・心身ともに健康になろうと努力する子ども（自分らしく生き生きと生活する力）		
①家族や教師、友達などと関わる中で、自分のよさを知り、友達のよさに気付く。（人との関わり） ②挨拶、朝や帰りの準備、排せつ、清潔、身だしなみ、掃除などの習慣を確立する。（習慣形成） ③心身の健康につながるよう、食事や歯磨き、運動の好ましい習慣を身に付ける。（習慣形成） ④準備、後片付けの習慣を身に付ける。（役割の理解と分担） ⑤適切な方法で気持ちを表現する基礎を培い、自ら意思を表現したり、伝えようとしたりする。（意思表現）	①安定した気持ちで生活することの大切さやそのための方法を知り、実践する。（人との関わり） ②場に応じた服装や衛生、相手に合わせた挨拶や言葉遣い、異性との関わり方などについて知る。（場に応じた言動） ③規則正しい生活の大切さが分かり、時間管理や健康管理等将来の生活を考えた習慣形成を図る。（習慣形成） ④自分と友達の違いや、互いのよさを認め、気持ちを適切に表現する。（自己理解、他者理解） ＜寄宿舎＞ ①集団生活の中で、規則正しい生活を送る。（集団参加、人との関わり） ②場に応じた挨拶、服装、身だしなみに気を付ける。（場に応じた言動、挨拶・清潔・身だしなみ） ③様々な行事を通し興味・関心を広げる。（生きがい・やりがい）	①地域社会の中で生活するために必要な基本的な態度を身に付ける。（場に応じた言動） ②学ぶことや働くことの意義を考え、進んで物事に挑戦する。（役割の理解と働く事への意義） ③職業生活の中で自立した生活を送るために必要な役割遂行能力や、習慣形成について学ぶ。（習慣形成、進路計画）
（２）誠実・・・喜びをもって精一杯努力する子ども（多様な人と関わり自らの役割を果たす力）		
①地域と関わる学習を通して、多様な人と関わりながら、協力するよさを知り、意欲的に活動しようとする。（集団参加、やりがい） ②係活動や地域と関わる学習などで自分の役割に最後まで取り組み、人の役に立つ経験や喜ばれる経験を積む。（役割の理解と実行） ③地域での活動を通して、公共のマナーなどを知る。（社会のきまり）	①地域と関わる学習を通して、人の役に立つ経験や人に感謝される経験を積む。（協力、場に応じた言動） ②作業学習製品の販売を通して人と接する態度を学んだり、自分の役割を理解し実行する経験をしたりする。（役割の理解と実行） ③買い物学習を含む校外学習を通して交通機関の利用の仕方や公共場所でのルールやマナーを体験的に知る。（社会のきまり、金銭の管理） ＜寄宿舎＞ ①友達のよさに気付き相手を認める。（自己理解・他者理解） ②異年齢の仲間との生活や係活動を通して、協力し合い、自分の役割を果たす。（役割の理解と実行、協力・共同） ③自治会活動やボランティア活動を通して、自分の役割を理解して責任を果たそうとする気持ちをもつ。（地域との協力・共同）	①地域の依頼や課題解決に向けた活動を通して、集団における自分の役割を果たしながら、使命感を得て多様な人と協働し、よりよい社会を構築しようとする態度を身に付ける。（自己調整） ②交流学習、販売活動の中で課題を見付け解決したり自己の考えを深めて表現したりする。（意思表現） ③将来自分たちが生活する地域を理解し、地域のために貢献しようという気持ちをもつ。（協力・共同）
（３）自立・・・自分のことは自分の力で成し遂げようと努力する子ども（自分ができること、したいことを知る力）		
①様々な活動の中から興味・関心のあること、得意なことや継続して取り組める活動を見付け、手伝いや係活動に生かしたり、趣味や余暇の幅を広げたりする。（様々な情報への関心） ②取り組んだことや楽しかったことを振り返り、達成感を得るとともに、学んだことやできるようになったことを生かしながら生活するための基礎を積み重ねる。（振り返り） ③将来に夢や希望をもって生活する。（夢や希望）	①様々な学習活動を通して、自分のやってみたいことを考え、その目標に近づくために日常生活での目標を意識しながら生活しようとする意欲を高める。（主体的な課題解決） ②自分の興味・関心に基づき選択し、決定する経験を積み重ねる。（自己選択） ③様々な学習活動への自発的な取組を通して、将来への期待感をもつ（生きがい・やりがい） ④職場・施設見学や高等部の見学・体験を通して様々な情報や職業に触れ、働くことに興味をもつ。（情報収集と活用） ⑤活動場面での振り返りを行い、それを次に生かそうと努力する。（肯定的な自己評価） ＜寄宿舎＞ ①卒業後の生活をイメージし、目標達成に向け、主体的に取り組む。（目標設定、生きがい・やりがい、選択） ②他者評価や自己評価を通して、自分自身のよさに気付き、さらにレベルアップを目指そうとする意欲を高める。（肯定的な自己評価、自己調整）	①目標の設定と活動を振り返り、できたことやできなかったことに気付き、自ら問題の解決方法を考え今後の生活に生かす。（目標設定） ②自己評価や他者評価、相互評価を通して自分自身の個性や適性に関する理解と、自らの思考や感情を律するための方法を知る。（自己調整） ③選挙権や消費者問題、ＳＮＳの正しい使い方、異性との距離感等について学び、安心して社会で生活できる知識を身に付ける。（情報収集と活用・法の制度や活用）

上記の項目を小学部から高等部までつながっていることを教職員が意識し、
学習活動の中で意味付けを行っていく。

キャリア教育推進の基盤

専門性の向上	保護者との連携	地域との連携	関係機関との連携	啓発活動
・キャリア教育の視点を取り入れた、児童生徒が学び合う授業実践、改善	・個別の指導計画 ・個別の教育支援計画に関する個別面談 ・連絡帳での情報共有 ・進路研修会等の開催	・地域行事を本校で開催 ・地域の人や物を活用した教育活動 ・地域貢献活動の推進 ・学校間交流 ・居住地校交流	・福祉、医療、労働機関との情報交換 ・卒業後支援の実施	・学校ＨＰによる発信 ・学校報等による広報活動 ・センター的機能の発信

（参考資料：文部科学省中央教育審議会キャリア教育における「基礎的汎用的能力」と資質・能力の三つ柱）